

(宮崎県 日向市) 【団体名】日向市

事業の背景・目的

スウィンホーキノボリトカゲは、平成28年9月に当市沿海部で個体が確認され、その後の調査で定着が確認された。これにより、生態系への影響が危惧されていることから、当該地域の生態系を保全するため、生息地域の拡大を防止し、絶滅に向けた有効かつ効率的な防除方法の確立と行政や地域住民、事業所等が一体となった防除活動の指針となる日向市スウィンホーキノボリトカゲ防除計画を策定するための事業を行う。

事業の内容

事業① 防除手法の実証試験

- ・9月から2月までの約6か月間、延べ210日の捕獲作業を行った結果、オス227頭、メス242頭、幼体955頭の計1,424頭の個体を捕獲した。
- ・捕獲作業を効率的に実施するため、下草刈りを実施した。
- ・越冬する個体が確認されたことから、冬期における捕獲作業を実施した。

事業② 広域生息状況調査

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、行政、地域住民、事業所等による一斉駆除及び生息状況調査を見送ったが、市職員による冬期における捕獲作業を4日間実施した。

事業③ 防除計画策定事業

- ・令和3年度及び本年度の2か年の捕獲実績や調査研究を踏まえて、防除計画案の策定を行った。



得られた成果

- ・延べ210日の捕獲作業により、多くの個体が捕獲され、生息密度の低下に一定の効果が得られた。
- ・防除手法の実証試験準備のための下草刈り作業をしたことにより、捕獲作業を効率的に実施できた。
- ・これまでに得られていた越冬する個体についての知見に基づき、冬期における捕獲作業を試行した。
- ・これらの結果を踏まえて、日向市のスウィンホーキノボリトカゲ防除計画案を取りまとめた。今後、外来生物法の改正も踏まえ計画案を精査し、市内でのスウィンホーキノボリトカゲの効果的な防除を実施する。

